

NTTコミュニケーションズ

セキュアなSaaS基盤を利用して新たなSaaSビジネスを創造する「BizCITY for SaaS Provider」

セキュアなVPNの特長を活かしたSaaS/ASP基盤サービス

ソフトウェア機能をインターネット等のネットワークを介して提供するSaaS/ASP型サービスの需要が急速に高まっている。その背景のひとつに、企業のアウトソーシングに対する意識の変化があげられる。経営環境の変化に迅速に対応するため、自前でシステムを構築しソフトウェアを「所有」する形態から「利用」する形態にシフトしているのだ。一方で、SaaS/ASP型サービスの導入

を検討する多くの企業がセキュリティ面での不安を感じている。この傾向は企業規模が大きいほど強く、SaaS/ASP型サービス導入時の障壁となっている。

NTTコミュニケーションズは、このような企業の不安を払拭すべく、セキュアなVPN環境下で低コストかつ手軽に利用できるSaaS/ASP型アプリケーションサービスの充実に向けて、今年7月に、SaaS基盤上でアプリケーション提供を行う事業者向けのSaaS基盤サービス「BizCITY for SaaS Provider」を開始した。

アプリケーションの導入から運用、販売までをトータルに支援

BizCITY for SaaS Providerは、アプリケーション提供事業者(以下、パートナー)がSaaS基盤上で自社のサービスを提供するにあたり、導入から運用、プロモーション、さらには販売までをNTTコミュニケーションズがトータルで支援するパートナー向けサービスである。パートナーは、自社のビジネスモデルに合わせて最適な形態で本サービスを利用でき、ユーザー企業に対し、VPNに直結した安全な環境でアプリケーションが提供できる。あたかもインハウスでサーバを保有しているかのような柔軟性を有しながら、わずかな初期投資でいち早くセキュアなSaaS/ASP型サービスの提供が可能となる。

「アプリケーション独自の認証に加えて、ネットワーク部分でも許可されたVPNからのみアプリケーションの利用を可能とすることができるので、ユーザー企業に安心感を与えるサービスを提供することができます。また今後、NGNの技術を活用した回線認証やシングルサインオン等の機能も提供していく予定で

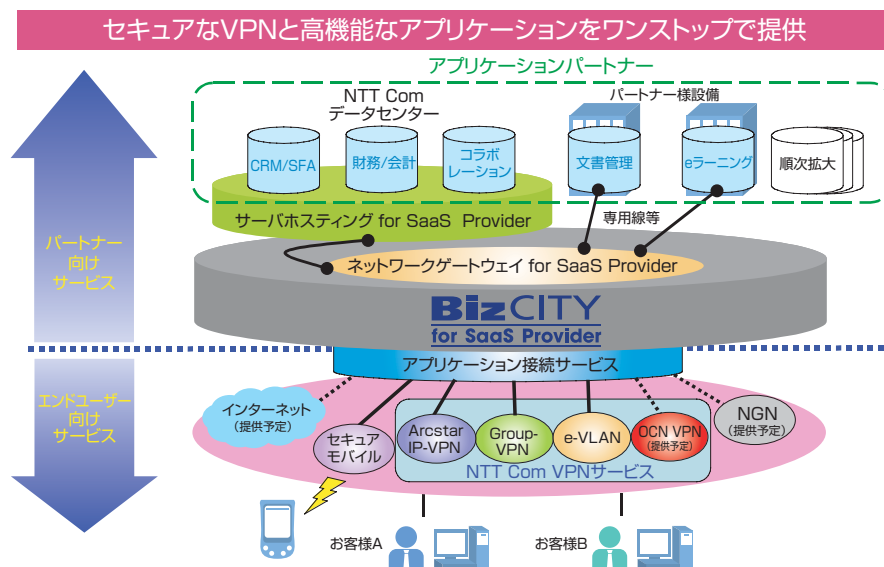
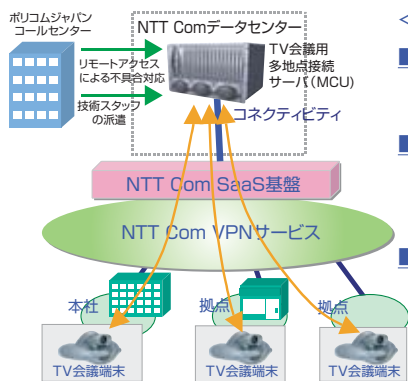


図1 NTTコミュニケーションズのSaaS基盤

ポリコム社が多地点接続サーバ(MCU)とデータセンター(コネクティビティ)、保守サービスを一体で提供



<サービスの特長>

- リモート保守による安定利用
MCUに対してリモートで監視保守実施。迅速な障害復旧が可能。
- 高品質なテレビ会議
ネットワーク基盤上という最高の通信環境下にMCUを設置。高セキュアなNTTコミュニケーションズのVPNだから安全にビデオ会議が利用可能。
- 自社運用と同等なコスト
コストはこれまでと変わらずMCU設置・保守環境をグレードアップ。

図2 高品位ビデオ会議システム

す。」(NTTコミュニケーションズ(株)ブロードバンドIP事業部 マーケティング部 担当部長 中山幹公氏)

BizCITY for SaaS Providerの具体的なメニューとして「ネットワークゲートウェイ for SaaS Provider」と「サーバホスティング for SaaS Provider」の2つが用意されている。前者は、パートナー向けに、NTTコミュニケーションズのVPNサービス(e-VLAN、Arcstar IP-VPN、Group-VPN)から直接アクセスできるゲートウェイを提供するサービスである。既にアプリケーションシステムを構築しているパートナー等に最適で、新たな環境を構築することなくSaaS/ASP型サービスの提供が行える。また、後者の「サーバホスティング for SaaS Provider」は、NTTコミュニケーションズのデータセンターに設置した、高い信頼性とセキュリティを確保したサーバホスティングを提供するサービスである。サーバは各種OSに対応しており、データバックアップ、システムマネジメントを含め、NTTコミュニ

ケーションズが運用を代行する。その他にも、NTTコミュニケーションズがユーザー企業への料金回収を代行する「アプリケーションサービス利用料金回収代行サービス」や、仮想サーバを提供する「仮想サーバホスティングサービス」など、様々なオプションの提供を予定している。

安全・安心・簡単に利用できるアプリケーションサービスを提供

図2は、パートナーであるポリコム社との協業により、SaaS基盤上で提供するアプリケーションの一例である。ポリコム社の多地点接続サーバをNTTコミュニケーションズのデータセンターで運用しているため、万一の障害の際も迅速な復旧が可能だ。またユーザー企業は、サーバに対しVPN経由でアクセスできるため、安定した環境で多地点ビデオ会議を利用することができる。

NTTコミュニケーションズでは、パートナーとの協業で提供するアプリケーションに加え、その基盤を活用して提供する自前アプリケーショ

ンのラインナップ充実にも力を注いでいる。以下に、NTTコミュニケーションズが自前で独自に提供するアプリケーションを紹介する。

◆VPNセキュリティ

拠点内PCから不正アクセスや情報流出を未然に防ぐセキュリティサービス。

◆セキュアメール over VPN

社内メールサーバと同等のセキュリティレベルを実現した「セキュアメールホスティング」サービス。

◆セキュアICT over VPN

VPNユーザーが必要としているインターネットゲートウェイ機能をVPNサービスとシームレスにSaaSモデルにて提供するサービス。

◆VPNストレージ

VPNサービス上の完全閉域網内で提供する企業向けストレージサービス。

◆マネージドセキュリティサービス

NTTコミュニケーションズの「セキュリティオペレーションセンター」による高度なセキュリティ運用サービス。

「今後、さらにSaaSアプリケーションのラインナップを充実させていくとともに、パートナーの皆様と新しいビジネスモデルを切り開いていきたいですね。」(前出、中山担当部長)

<お問い合わせ先>
NTTコミュニケーションズ(株)
 TEL : 0120-343-451
 (9:00~19:00 土・日・祝日を除く)
 URL : <http://www.ntt.com/saas/>